

第2回中心市街地市民意見聴取会 アンケート集計結果

1. 調査方法

(1) 調査対象

・第2回中心市街地市民意見聴取会に参加された方 110人

(2) 回収方法

・第2回中心市街地市民意見聴取会の終了後、回収箱を設置して回収した。

(3) 回答総数 59人

2. 設問に対する集計結果

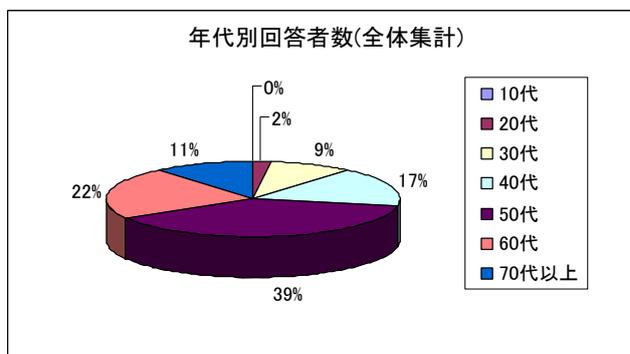
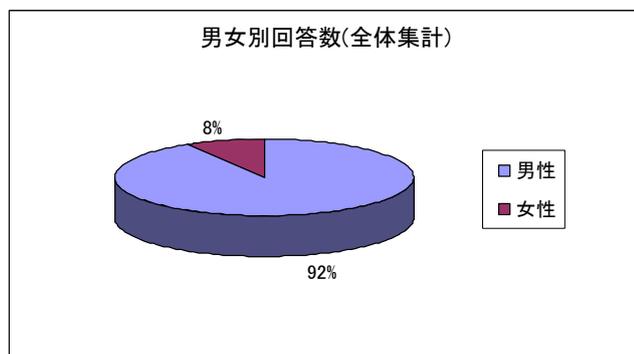
(1) 設問1 あなたの性別は、①男性、②女性

①男性 54人(92%)、②女性 5人(8%)

(2) 設問2 あなたの年齢は、①10代、②20代、③30代、④40代、⑤50代、⑥60代、

⑦70代以上

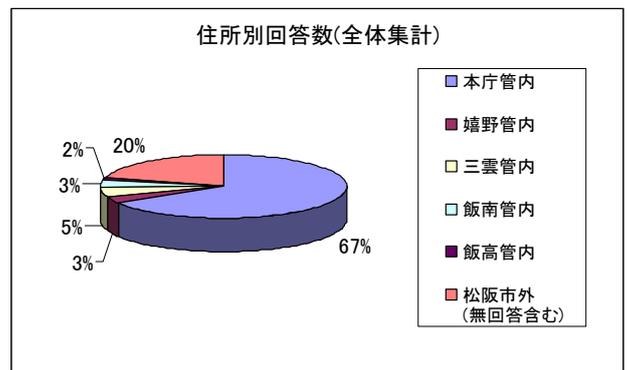
区分	全 体		
	男性	女性	計
10代	0	0	0
20代	1	0	1
30代	5	0	5
40代	9	1	10
50代	21	2	23
60代	12	1	13
70代以上	6	1	7
計	54	5	59



(3)設問3 あなたのお住まいは、①松阪市（町）、②その他（ ）

■お住まい別回答数一覧表

管内別	男性	女性	計
本庁管内 (中心市街地)	35 (11)	4 (2)	39 (13)
嬉野管内	1	1	2
三雲管内	3	0	3
飯南管内	2	0	2
飯高管内	1	0	1
松阪市内 小計	42	5	47
松阪市外(無回答含む)	12	0	12
計	54	5	59

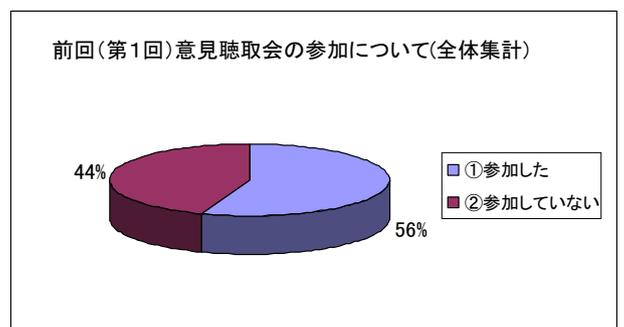


(4)設問4 前回(第1回)意見聴取会は参加されましたか。

①参加した、②参加していない

■前回参加について

満足度	全体		
	男性	女性	計
①参加した	30	2	32
②参加していない	24	3	27
計	54	5	59

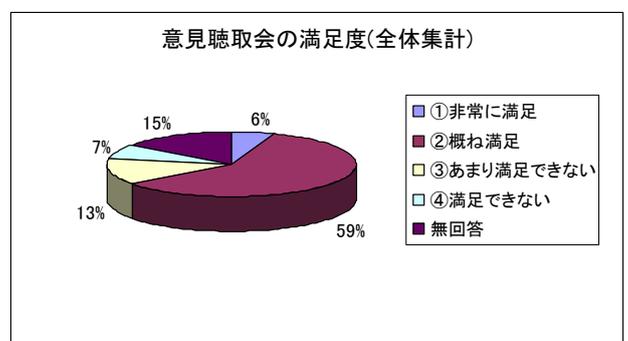


(5)設問5 本日の意見聴取会はどうでしたか。

①非常に満足、②概ね満足、③あまり満足できない、④満足できない

■意見聴取会の満足度

満足度	全体		
	男性	女性	計
①非常に満足	3	0	3
②概ね満足	32	3	35
③あまり満足できない	7	2	9
④満足できない	4	0	4
無回答	8	0	8
計	54	5	59

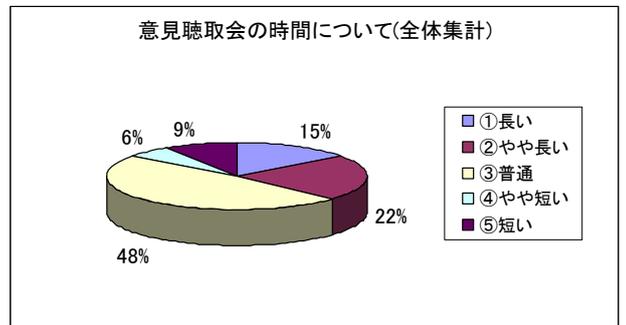


(6)設問6 本日の意見聴取会の時間はどうか。

①長い、②やや長い、③普通、④やや短い、⑤短い

■意見聴取会の時間について

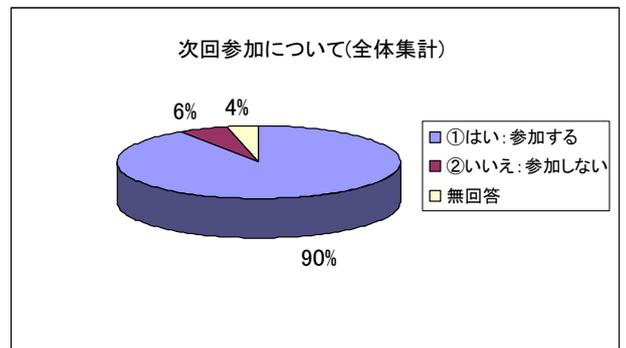
時間	全体		
	男性	女性	計
①長い	8	1	9
②やや長い	12	2	14
③普通	26	2	28
④やや短い	3	0	3
⑤短い	5	0	5
計	54	5	59



(7)設問7 次回の意見聴取会には参加されますか。 ①はい ②いいえ

■次回の意見聴取会の参加意思

次回参加意志	全体		
	男性	女性	計
①はい：参加する	49	4	53
②いいえ：参加しない	3	1	4
無回答	2	0	2
計	54	5	59



3. アンケート等の自由意見について

第2回意見聴取会のアンケートで回答をいただいたご意見、書面により提出いただいたご意見を下記項目に分類整理しました。

■意見聴取会アンケートにより回答いただいたご意見（34通）

■書面で提出いただいたご意見（2通）

アンケート自由意見等の分類カテゴリー	
(1)	まちづくりに関する総論や要望
(2)	まちなみ整備に関する具体案
(3)	松阪駅周辺整備に関する総論や要望
(4)	松阪駅周辺整備に関する具体案
(5)	商業振興に関する具体案
(6)	観光振興に関する具体案
(7)	交通アクセス整備に関する具体案
(8)	三重大学院生演習課題発表に対する感想や意見
(9)	意見聴取会に対する要望や意見
(10)	その他意見

(1) まちづくりに関する総論や要望

■意見の要約

・市長から提案されたまちづくりのテーマ「食と歴史のまち」について、賛同または期待されており、松阪市の特色である「食」と「歴史」「おもてなしの心」を活かし、住んでいる市民に愛され、誇りに思えるまちを目指すという方向が望まれています。

■寄せられたご意見

- 住んでいる人に愛される松阪にするべき、意見聴取会の参加者が増える松阪にする。松阪市民全体でおもてなしが出来る松阪にするべき。まずは、市民が松阪を誇りに思えはじめてから、箱物整備、ハード面をすれば良いと思います。
- 「観光客」と同時に「居住者」の視点が必要です。
- 松阪の原風景（原風景の原点は魚町1丁目、本町1丁目、松阪城跡、御城番屋敷、阪内川、堀坂山にある）は残しておきたい。また、歴史と文化を大切にする町にしたい。そして、「住んで良かったと思う町」にしたい。これが観光客にピンとくる何度でも訪れたいと思うような町にしたい。歴史文化が町おこしの基本であることを再認識すべきである。
- 歴史と蒲生氏郷に市長が言及されたのは楽しみが増えたように思います。「松阪の歴史」としては「氏郷」と「楽市」、都市づくりなど原点を活かしてもっと市民に知ってもらおう。歴史の発見も必要だと思いました。その辺の努力もしていきたい。観光での活用も可能だと思う。
- 「食（B級グルメ≡ホルモン）と歴史（蒲生氏郷を大河ドラマに）のまち」という提案は、まちづくりのソフトとして求心力（夢）のあるテーマだと感じた。
- 市長のお話の「B-1 グランプリ」については非常に可能性が高いと感じた。まちづくりの起爆剤としての効用は大きく、既存のお店の活性化にもつながると思う。
- メニューのPRも重要であるが、それ以上にB-1 グランプリ大会の誘致をまず目指す方がインパクトが大きい。（グランプリは大体開催地が取っている）
- 多くの意見の中で、今ある物がある程度利用した町づくりが出来ないかと考える。また、意見にもありましたが駐車場の整備も必要であると思う。
- 住民と商人、観光客の立場によって街のつくり方は当然異なると思うので、よくみんなの意見を聞いて造っていくべきである。駅を含めて全体で計画をするべきである。
- 津市より勉強のため参加致しました。市民の方々の熱を感じ方向性さえ間違えなければ非常に活性化するのではないかと思いました。一つ思うのが松阪市としての認知度がどれだけあるのかという問題、松阪肉は知っているが松阪市を知っているか、これは、三重県全体の問題ではありますが、ウィークポイントであると思います。旅行者の旅行決定の思考を捉えるのが重要と思います。北海道、沖縄、京都、大阪、横浜など観光地として確立している場所は、地名が目的地となりますが、松阪市は観光地として確立されていないと思います。そういった地域は観光目的で決定されます。松阪市としてはまず魅力的な目的、わかりやすい目的を作ってランディングポイントにすることが必要ではないかと思います。

- 基盤整備は必要だが「プチ東京」になるのであれば、足のある人は、東京に行ってしまうのではないか。
- 松阪駅が松阪の玄関口でしょうか疑問です。車で来る人と電車で来る人どちらが多いのでしょうか？

(2) まちなみ整備に関する具体案

■意見の要約

・まちなみ整備の具体案として、「松阪城周辺ゾーン」「松阪商人・商家ゾーン」について歴史史跡を保全するとともに町並みを再生し、松阪木綿を活用し統一されたデザイン「案内板、看板、旗、モニュメントなど」で松阪の町をコーディネートし、松阪の歴史や町並みを印象付け、市民が松阪を愛するとともに、観光振興にも寄与するように官民一体となって取り組むことが望まれています。

■寄せられたご意見

- 松阪イメージとして伝えたいもの（案内板、看板、旗、モニュメント等）を木綿の紺色縞模様でトータルコーディネートし、統一感をもたせる。松阪木綿は全国的にそんなに知名度がないと思うが、松阪市内に入るとやたら紺色縞模様が目に付くといった状態にする。
- 歴史史跡として松阪城を市民の浄財で再建する。市民が寄付することに意義があり、期間は100年ぐらいかかるかもしれませんが長期計画で徐々に建築していった方がいいでしょう。それだけで、観光の目玉となり、その過程も売りとして、観光客の集客を図るという案はいかがでしょうか。ぜひ一度考えてください。
- 城跡周辺の整備について、工業高校の建替えを検討するのであれば、ぜひ旧赤壁校舎の復元を行って頂きたい。本丸（兵部屋敷跡）に資料館兼休み処を建設する。
- 町並み整備、居住について、古い民家はどんどん少なくなっていくと思うが、一方で「古民家」の魅力がクローズアップされるような状況もある。都会でリタイヤしたような人に、例えば、古い洋館等で利用されなくなっているものを商店に転用したり定住を斡旋する等の取り組みが出来ないか。

(3) 松阪駅周辺整備に関する総論や要望

■意見の要約

・駅西再開発事業の頓挫により、従前の開発手法による駅周辺整備に対して疑問を唱えるご意見がある一方で、駅前の衰退の現状を嘆いている声が多く、駅前周辺整備については、本当に必要なものは何かを検討して、行政主体ではなく、民間主導による再開発計画を進めることを望まれています。

■寄せられたご意見

- 再開発手法に依存しない方法を模索すべき
- 駅前の衰退、三交百貨店跡地の駅前西地区の計画の頓座、顔のない駅前を松阪市はここ

何年、何十年続けて来てしまったか。三交百貨店跡には、商業施設を要望する。駅西地区を民間の手で活性化案を出させてみる（官の発想では再生は難しい）。

- 駅前周辺開発は、民間主導で実施すべきと考える。このままでは、松阪は、本当の田舎町になってしまう。マンションは嫌、ホテルはダメと言っていたのでは、いつまでも駅前にはペンペン草の生えた空き地のままだ！再開発実施の決断が必要！
- 行政が財政資金を投入した松阪駅前、市街地再開発も結構ですが、本当に必要なのか基本を忘れずに取り組んでもらいたい。一方で、民間、特に商工会議所、商店街連合会がまじめに真剣に生き残りをかけて民間のみで考えるべきだ。
- 私を含め多くの市民の方々から、駅前が中心であるアドバンテージ（利益）は少ないと言われている。郊外に大型スーパーがいくつも出来ており、お客さんが車で行く時代であるので、駅前に大投資をしてホテルや高級マンションを建てる時代ではなく、ソフト面で田舎町をアピールすべきだと思う。
- 駅前にマンションが無いと言う発言があったが、津新町、桑名等駅前に立地したマンションは多い。認識不足だ。また、「駅ウラ」という言葉は禁句にすべき！

(4) 松阪駅周辺整備に関する具体案

■意見の要約

・松阪駅周辺整備の具体案として、JR松阪駅周辺を松阪の顔、玄関口、交通結節点として、ターミナル機能、広場・公園・イベント開催機能、駐車場機能、情報発信機能、飲食商業機能など備えたハード面の整備が望まれています。また、JR駅舎の改築も望まれています。

■寄せられたご意見

- 駅前には公園が必要である。公園には人が休（人＋木＝休）む場所として木が必要である。機能的で景観にも良い。交通アクセスは、鉄道、船、バス、自動車これらは案外対策されている。
- 市内向けのイベント等を駅前でやる事が出来ないか。イベントができる施設が必要である。自分は夏にチベット展を「津」で行いました。小規模イベントでしたが、松阪では場所が見つけれませんでした。ちょっと良いプロジェクターを貸し出せば映画上映等も可能（映画館必ずしも必要ない）。
- 駅前のバラック的な飲み屋街の再開発について、例えば大阪のジャンジャン横丁は、今若者でにぎわっている。戦後の町並みも方法次第で魅力あるものになる。例えばそこでホルモンを提供するなどすれば、B級グルメ構想とマッチした町づくりができるのではないか。
- 駅・三交百貨店跡を公園にしてはどうかという提案がありましたが反対です。通勤・通学者が利用することが少ないと思うし、一部の近辺の住民が利用するのみと思われるからです。大都市にあるような公園に比べると規模も限られ頻繁に人が集まるとは思えません。

(5) 商業振興に関する具体案

■意見の要約

・商業振興の具体案として、人が安心して歩け、自由に車両を駐車できる道路を含めた商店街として駅前通りの整備計画を検討することが望まれています。また、「松阪牛」の売り方について松阪流B級グルメを開発し、庶民レベルに下げ、集客向上を図るよう提案されています。空き店舗対策としてベルタウンの空き店舗の活用とその活用策の研究に他都市の事例に学ぶことも提案されています。

■寄せられたご意見

- 商業については、駅から市中心街への道路について、人・車・自転車・シルバーカーの通行と駐車設備について、考え直す必要がある。今の道路は、人・車を通過させるためだけに考えられたと思うので、人・車・自転車を自由に止める事が出来て、人が寄り易い様に考える必要があると思います。例：横浜市の元町4・5丁目通りは、狭い道ですが、人と車を対象に良く考えて作られており、商店街も良く整備されている。良く工夫されており模倣せよとは言いませんが、駅前通りも工夫する必要があります。
- 「松阪牛」の売り方を庶民レベルに下げる。松阪流B級グルメの開発、例えば、松阪流シロコロホルモン、松阪肉ミンチカツ、松阪肉ビーフカツサンド、松阪肉を使った千円、2千円、3千円の定食ランチ、松阪肉を使ったサイドメニューの充実など。
- ベルタウンのシャッター店を市民団体等に貸し出せないか。
- 街並みとして統一されたものがあるのか？日本一のポイ捨てゴミのない町、美意識や住民意識向上が必要です。今日から市民一人一人が出来ることを見直す。商人→商店（点）となってしまう連携が無い。点から線へ連携を高松の丸亀町商店街から学ぶように協力してもらうのはどうか。地産地消、言葉だけの一人歩きではないのか？公共工事、商品、食品等見直す点はないのか？

(6) 観光振興に関する具体案

■意見の要約

・観光振興に関する具体案として、松阪駅前に観光バスを駐車できる駐車場の整備と土産物店を松阪駅や松阪城周辺に設置する案、観光案内や土産物販売及び観光情報発信基地として観光物産館を整備する案、松阪肉、松阪木綿を観光情報として広く発信する案、市民自らが松阪のことを勉強し、観光客を官民一体となっておもてなす案などが提案されています。

■寄せられたご意見

- 駅前の駐車場に観光バスが止められるよう考えてほしい。鳥羽や伊勢へ向かうバスを捕まえることを考えるべき。松阪市の中心市街地に人を呼び込むためにバスの停留所を用意するべきである。
- 観光バスの客が駅前まで来ることが出来ないため、松阪市営駐車場（グランド横）近くにお土産売場が必要という意見が多い。

- 交流人口（観光客）を増やすために、いろいろな意見が出ていましたが、まず大切なことは市民が観光PRをしていないことだと思います。日本国民に松阪とはと聞いたとき松阪牛は誰もが知っていることだと思います。松阪肉ブランドを活かした松阪づくりが必要だと思います。そこで①松阪牛を中心とした目玉施設をつくる。②市民が松阪自慢（運動を起こす）をつくる。以上のことが必要です。
- 観光ポイント、アクセスについての案内、松阪及び周辺町村の全ての物産を扱う、観光物産館を考えてもらいたい。お客さんだけでなく、在住者でも未案内のものが色々あります。
- 観光手形で観光客を見分け、各店、行政がサービスする。松阪木綿で宣伝（ご当地サイト松阪）
- 松阪検定が出来ませんか？市民が市のことを知りません。“松阪牛”なので牧場体験等が出来る所がないか、あるいは牧場見学が出来ないか。

(7) 交通アクセス整備に関する具体案

■意見の要約

- ・交通アクセス整備の具体案として、松阪駅と市郊外及び他都市とのアクセス向上が望まれています。また、その対策の一つとして、JR、近鉄、伊勢鉄道の顧客サービス向上（スピードアップ、車両のグレードアップ、便数増加、複線電化等）を沿線自治体と連携して陳情していくことを望まれています。

■寄せられたご意見

- 県外からのアクセスについて、近鉄の特急料金については現行のままで良い。値下げをすれば本当に利用したい人（急ぎの用事がある人、高齢者、乳幼児を連れた人達）が利用しづらいことになる。それよりもJR快速みえの増発（30分に1本）、増結（グレードアップした指定席車を増結）をJR東海に働きかけるべきである。現在、伊勢鉄道が民鉄であるため、JRの企画乗車券では差額の支払いが必要となる。この点が一般には理解困難で車内でもトラブルの原因になっている。市当局としては、県、沿線市町と一体となって、伊勢鉄道のJR化（JR東海が買い取る）を強く要請して頂きたい。併せて将来の展望として松阪～南四日市間の複線電化を要請して頂きたい。現在、伊勢鉄道の河原田～玉垣間は複線化されている。
- 酒を飲んで郊外へ帰りやすい交通アクセスが必要。コミュニティバス、デマンドオンバスなどの研究や社会実験をして整備が必要です。

(8) 三重大学院生演習課題発表に対する感想や意見

■意見の要約

・三重大学院生の演習課題発表内容に感銘を受けたと称えるとともに、まちづくりのコンセプトを松阪木綿の製造過程に見立てていることに共感し、今後のまちづくりの参考にするように要望されています。

■寄せられたご意見

- 三重大学院生による演習課題発表は素晴らしいものでした。若い感性による、城下町の活性化、アイデアには感銘を受けました。発想も松阪木綿の製造過程に見立てており、コンセプトがしっかりしています。十分に参考にさせていただきたいと思うものでした。
- 初めて参加しました。前半の三重大学院さんの発表を聞かせていただき、駅前から職人町、魚町界限、城跡等の話を興味深く聞きました。特に職人町は私の住む通りです。自分の子より若い方が町を勉強して素晴らしい構想を発表されたことに感銘しました。悲しいかな職人町は、住む職人が数名しかいません。ここに松阪木綿の工房等を持ってくる発想が嬉しく思いました。職人町通りだけでなく、皆が繋って「キラリと光る田舎町」が出来たら素晴らしいと願っています。私は10年ほど前から職人町の活性化の一環として岡寺山継松寺の前に個人で街角案内所を立ち上げました。志を合せるという意味で「志あわせや」と名付け今年で5年になります。小さな点でもいくつか連なり、線になり、いずれは面となっていくことを期待しています。
- 会議の前段の三重大の方からの発表について、松阪の町について再認識する部分も多く大変参考になった。意外だったのは、中心部に住んでいると思われる方々から「実際に歩いてみないと分からないことが多い」といった話が聞こえてきた。地元の方は「歴史」とか「景観」ということを良く言われるが、意外と地元の状況を理解されていないのではないかと感じた。
- ①歴史まちづくり法を提案しているが、今日の三重大の方々の発表はピッタリではないか。城跡の旧史跡指定、重要文化財の御城番屋敷、殿町地区、魚町地区、都市計画道路見直し等トータルで出来ると思う。②学生の方々の発表で、少し意見があるのは、近代建築への見方。梶井基次郎の文学では、赤レンガの学校（工業）などもあり、どの時代に視点を置くかで考え方も変わってくるのではと考える。
- 学生諸氏のご協力に感謝します。今後とも松阪について研究を続けてください。

(9) 意見聴取会に対する要望や意見

■意見の要約

・議論のテーマや話題が多岐に渡り深い議論が出来ないのでテーマを絞った議論を望むご意見、ワークショップ形式の採用を望むご意見、若い世代の参加を望むご意見、意見聴取会の進行に不満のご意見

■寄せられたご意見

- 話の内容が多岐に渡り、深い議論が出来ない。参加者の意見をもっと短時間で集約する

方法を取ることが良いのではと思います。また、ワークショップ形式にしたらどうでしょう。

- 前回の方がメリハリあって良かった。全体形式であっても、ワークショップは可能。前回はその片鱗を感じることができた。（小テーブルのワークショップが全てではない）今回は前回の論議を継承して発展させるものとなっていない。参加者全体が機能する方法を考える必要がある。最後の30分間で討議したテーマに絞って重点的な議論の設定を行うべき。ただし「再開発」の意味について市民に誤解の無いように議題設定をしてほしい。例えば「再開発」という言葉は使わないようにして意味を語るべき。
- 話が話題からずれることが多いため、もう少し話題のテーマを絞ったほうがよいのではないか。また、アドバイザーからの意見がもっとほしい。
- テーマが2種類あったが、個人からの意見や提案ではテーマ1かテーマ2なのかかわからない共通な物が多かったように思われ、整理分類するのが困難ではないか？
- 議論のテーマを絞るべき。
- 市内（中心部）の特長となる町並みや、建物、道路、公園、良い所、悪い所等の写真を撮っておいて、パワーポイント資料として作成しておき、質問の際に利用できるように使ってはどうか？
- ホールを利用した形式では市民の意見を聞くだけの会としては良いのですが、個々の意見を聞くだけで具体的な方向への進展は難しいと思います。
- 会場には、いつも同じような人達が集まることが残念です。現在、そして未来を作っていく若い世代（大学生や高校生も含む）にも周知し参加するような形をとることも必要ではないかと思います。大学生や高校生は、しっかりした意見や考えもあります。
- 私は、若い人の意見をもっと聞くべきであると思う。また若い人がもっと意見聴取会に参加してほしい。
- 今回は、観光政策に重点が置かれていた。地元に住む都市基盤整備について、何が欠けているのか検討が不十分です。そして今回は第1回より人が少ない。特に若年層の参加が少ない。第3回は、挽回して下さい。
- いつも発言する方は同じ方ばかり、参加者も同じような方ばかり、これで良いのかと思う。
- 松阪市にはどうしても何か話をしたい（ものを言いたい）方が多く、フリートークではこの方々が同じ話の繰り返し等で時間の大半を独占してしまうので、もう少し専門家の方、市の方からのお話を増やしたほうが良い。会全体としても満足度は高まると考える。
- 意見聴取会であるので、司会者は時間配分をもう少し考えて進行願いたい。最初からもう少し時間をとればどうか？
- 座長の時間配分が悪い。質問の内容・ポイントがやや不明です。
- 「前回に引き続き思いますが、司会の先生がしゃべりすぎです。簡潔にということですから、司会からその範を示すべきです。本日もまだまだしゃべりすぎという反省がなされていないように感じましたがいかがでしょうか。」と思いましたが、本日は司会者として合格ですね。よろしい。
- 前回と同様、重ねて思いますが、アドバイザーは不要です。無料ならよろしいが、予算を使って雇うような必要はないと思います。市長いかがですか。税金の無駄を無くしま

しょう。

- アドバイザーの人はこの会に必要でしょうか。外部の人の意見はもう少し話がまとまってからでも良いのではないのでしょうか？
- 市の取り組み内容の説明は事前（第1回終了時）もしくは、当日の文書配布で済ませるべき。（議会答弁のような長い話はせつかくの時間がもったいない）この会の目的（趣旨）からすれば、現在の課題ではなく、市としての今後の施策の方向性について何らかの提案等で説明されると考えていた。
- 歴史文化、商工観光、市街地整備の市側の説明は極めて長く迷惑であり時間の浪費である。書面による配布が良い。市側は本会の趣旨を全然理解していない。
- 意見聴取会の開催は、前回の青アンケート用紙にも書きましたが「大賛成」です。前回にも指摘しましたが、日程等の設定に問題ありと考えます。12月の意見聴取会も喜んで参加しますので、山中光茂市長にこれを読んで頂くことを希望します。
- 意見聴取会の日程や時間設定が悪い。文化行事とバッティングしている。中部フィルハーモニーのコンサートが本日16時から開催される日に意見聴取会を設定していること反省せよ！
- 9月の建設水道委員会で、第2回意見聴取会の日程が中部フィルハーモニーコンサートと重なって困ると発言。これに対して市の職員は「次回から日程を検討します。」と回答しました。個人的意見ですが、「検討する→しない」「実行する→する」と捉えています。

(10) その他意見

- NHKの「天地人」に蒲生氏郷が出てこなくて不満です。
- 私は駅西開発が何故失敗したのか、その原因を検証してほしい。市はコンサルタント会社から1億2千800万円の損害賠償を払えと裁判所に告訴されている。敗退すれば1億2千800万円の税金が使われようとしている。多くの市民と市議会議員が賛成したのに、前市長の判断で止めと決まると中止に賛成する側にまわってしまった。あまりにも意志がない。裁判で敗訴した場合は、駅西開発に賛成した市民が街頭に立って、他の市民から寄付を募って税金で支払う賠償金額をできるだけ減らしてほしい。
- 町並み整備をするにあたって予算計画を立てられて具体的にいつからするのか教えてほしい。
- 行政のみだけでなく官学民合同チームをつくり意見集約を図るべし。

以上